

## 【日経225先物/日経225mini取引】

日経平均株価（日経225）の指数を対象とした取引で、日経平均の上昇・下落を予測して売買する取引です。

株式投資のように売買代金を支払うのではなく、証拠金を担保として差し入れる取引ですので少ない資金で、比較的大きな取引ができるという特徴があります。

投資に際しては、取扱商品・手数料などホームページの記載事項や契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品・取引の仕組みやリスクなどを十分にご理解の上、ご本人の判断と責任においてお取引ください。

## 【日経225先物、日経225mini取引について】

- ・日経225先物、日経225mini取引は、日経平均株価を対象としているため、価格は日経平均株価の変動に影響を受け、損失が生じる恐れがあります。またその損失が、預託した証拠金の額を上回る恐れがあります。
- ・市場の状況によって、制限値幅が拡大されることがあるため、1日の損失が予想を上回る恐れがあります。

## ●ご注文のルール

- ・必要証拠金：新規建注文時は、1単位あたり当社規定証拠金を前もって証拠金としてお預かりしている必要があります。

日経225先物…銘柄別VaR証拠金の1.2倍。（円未満切り上げ、最低50万円）

日経225mini…銘柄別VaR証拠金の1.2倍。（円未満切り上げ、最低5万円）

- ※ VaR証拠金の額は日本証券クリアリング機構にて毎営業日見直しが行われることから、当社規定の証拠金もその都度更新されます。建玉の評価損、証拠金額の引き上げ等により不足金が生じた場合、不足額を所定の日時までに差し入れていただく必要があります。差し入れが確認できなかった場合、当社の任意で建玉の全部を強制反対売買により返済させていただきます。

- ・注文の有効期限：当日分のみ。
- ・最終売買日：各限月の第二金曜日（休日の場合は当該日の前日）の前日が最終売買日。
- ・受渡日について：受渡日は成立日の翌営業日です（株式とは異なります）。
- ・先物取引の返済（決済）について：最終売買日までに反対売買されなかった建玉は、SQ値（スペシャルクォーターション）との差金決済になります。

# 目次

---

- P1 . . . 株価指数先物取引とは？
- P2 . . . 日経225先物/日経225mini 取引の概要
- P3 . . . 取引時間は？
- P4 . . . 期日・限月とは？
- P5 . . . 決済方法は？
- P6 . . . 諸経費は？
- P7 . . . 取引に必要な証拠金額計算の考え方
- P9 . . . 預け入れ証拠金からの新規建て可能数量の算出
- P10 . . . 建玉に係る証拠金所要額及び新規建て可能数量の計算方法
- P12 . . . 評価損が発生した時の管理方法
- P13 . . . 日経225先物取引の活用方法
- P14 . . . ～知っておきたい用語～
- P15 . . . 日経225先物/日経225mini 取引の口座を開設するには？

# 株価指数先物取引とは？

先物取引とは、現時点で、将来の売買を約束する取引です。例えば、6ヶ月後に『ある商品』を1万円で買う／売るといった約束を、現時点で行うことです。

先物取引には『期日』があります。その期日までの取引期間中は、いつでも反対売買により決済することができます。(期日が到来すると、自動的に決済されます)

未決済の取引のことを、『建玉』と呼びます。決済時には、買いの取引代金と売りの取引代金との差額(=損益)の受渡が行われます(=差金決済)。

通常の現物取引では、10万円分の商品を買う場合には10万円(+諸経費等)が必要になりますが、先物取引では、現時点では対象となる商品そのものは必要無いため、現物株式取引のように『買ってから売る』だけでなく、信用取引のような『売ってから買い戻す』という取引手法も可能です。

また、先物取引は、『証拠金』という担保を差し入れることにより、取引ができます。(証拠金はあくまでも担保であり、買い or 売り代金ではありません。)

当社で取扱っている株価指数先物取引とは、日経平均株価を対象とした先物取引です。

日経平均株価(日経225)を対象とし、日経平均株価の1,000倍を取引単位とする『日経225先物』と、同じく日経平均株価の100倍を取引単位とする『日経225mini』をお取引いただけます。

# 日経225先物/日経225mini取引の概要

	日経225先物	日経225mini
取引代金	日経平均株価の 1,000 倍	日経平均株価の 100 倍
1 単位(枚)当たり 弊社規定証拠金	銘柄別VaR証拠金の 1.2 倍 (円未満切り上げ。最低 50 万円)	銘柄別VaR証拠金の 1.2倍 (円未満切り上げ。最低5万円)
上限枚数	1 注文当たり・・・100枚 総建玉枚数・200枚	1 注文当たり・・・100 枚 総建玉枚数・・・200 枚
	別途、総建玉上限金額に対して 20 億円（日経225先物、日経225mini 合算）の制限があります。	

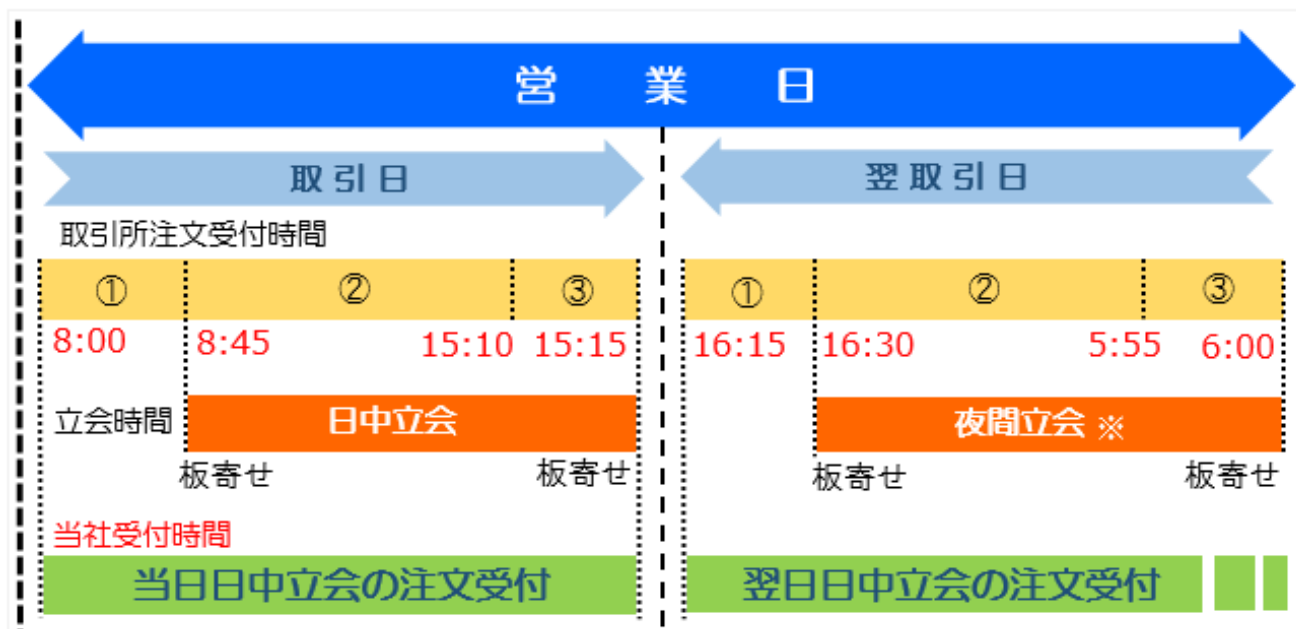
例) 銘柄別VaR証拠金（日本証券クリアリンク機構の表示値）が150万円の場合、日経225先物を32,000円で2枚買建てる場合・・・

取引代金 = 32,000円 × 1,000倍 × 2枚 = 6,400万円

担保として差し入れる証拠金額 = 2枚 × 150万円 × 1.2（弊社での規定値） = 360万円

約定単価・取引代金にかかわらず、『取引枚数 × 規定証拠金』の額を証拠金として差し入れていただければ、お取引が可能です。

# 取引時間は？



※ 弊社では、「夜間立会取引（ナイトセッション）」（16:30～翌日 6:00 の取引）は、お取り扱いしておりません。

		日中立会	取引ルール
①	プレ・オープニング	8 : 00 ~ 8 : 45	注文のみを受け付けてマッチングを行わない(*1)
	オープニング・オークション	8 : 45	板寄せ方式によるマッチングを行う(*2)
②	レギュラー・セッション(ザラバ)	8 : 45 ~ 15 : 10	ザラバ方式による取引が原則
③	プレ・クロージング	15 : 10 ~ 15 : 15	注文のみを受け付けてマッチングを行わない(*3)
	クロージング・オークション	15 : 15	板寄せ方式によるマッチングを行う(*4)

(\*1) 日中立会開始直前の1分間（8:44～8:45）は取引所が注文の訂正・取消を受付けない時間帯（ノンキャンセル・ピリオド）です。

(\*2) 「成行注文」はオープニング・オークション時（8:45）に不出来となった場合、「全部失効」（一部出来は当該未執行数量が「失効」となります。）（「指値注文」は当日、日中立会中は約定が成立するまで有効注文となります。）

(\*3) プレ・クロージングとは、日中立会のザラバ取引を15時10分までとし、その後5分間、注文のみを受け付け、マッチングは行わない時間帯を設け、15時15分に板寄せが行われます。

(\*4) 日中立会の取引終了時刻は全商品（日経225先物/mini, 日経225オプション）で15時15分となります。

# 期日・限月とは？

日経225先物取引は取引できる期間が決まっています。この満期月を限月と呼び、株式でいる銘柄にあたります。日経225先物取引は3月、6月、9月、12月のうち19の限月が取引されます。各限月の満期日(SQ日)である第2金曜日の前日を、取引最終日としています。取引最終日の翌日に新たな限月の取引がスタートし、各限月の取引期間は6月、12月限が8年。3月、9月限が1年6ヶ月です。参考までに2023年11月末時点で設定されている限月取引は次のとおりです。

	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年
2023年 11月13日～ 12月限取引最終日		3月限	3月限						
		6月限	6月限	6月限	6月限	6月限	6月限	6月限	6月限
		9月限							
	12月限	12月限	12月限	12月限	12月限	12月限	12月限	12月限	

日経225先物  
取引可能限月  
◆19限月

青:3月、6月、9月及び12月のうち、8年先までの6月と12月の16限月  
緑:3月、6月、9月及び12月のうち、1年6ヶ月先までの3月と9月の3限月

日経225miniでは3月、6月、9月、12月のうち13限月及び、それ以外の月のうち、もっとも近い3限月が取引されます。各限月の満期日(SQ日)である第2金曜日の前日を取引最終日としています。取引最終日の翌日に新たな限月の取引が開始され、各限月の取引期間は6月、12月限が5年。3月、9月限が1年6ヶ月。それ以外の限月は4ヶ月又は5ヶ月です。参考までに2023年11月末時点で設定されている限月取引は次のとおりです。

	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年
2023年 11月13日～ 12月限取引最終日		3月限	3月限						
		6月限	6月限	6月限	6月限	6月限	6月限	6月限	6月限
		9月限							
	12月限	12月限	12月限	12月限	12月限	12月限	12月限	12月限	

日経225mini  
取引可能限月  
◆16限月

青:3月、6月、9月及び12月のうち、5年先までの6月と12月の10限月  
緑:3月、6月、9月及び12月のうち、1年6ヶ月先までの3月と9月の3限月  
黄:3月、6月、9月及び12月以外の直近3限月

# 決済方法は？

建玉の決済方法は、**期日までに反対売買を行う方法**と、満期日に計算される**特別清算指数**(SQ：スペシャル・クォーテーション)で**決済する方法**があります。

いずれの場合にも**建てた時の価格と決済価格との差額分**のみを受渡しする**差金決済**が行われます。決済の結果、利益が出ていれば益金を受け取り、損失が出ていれば損金を支払うことになります。手数料・消費税は、新規建て分・決済分、まとめて決済時に損金として計上されます。

## 1) 反対売買により決済 注) 手数料は考慮しておりません。

例) 日経225先物を32,100円で3枚買建て、32,300円で転売する場合

$$(32,300円 - 32,100円) \times 1,000 \times 3枚 = \mathbf{600,000円}$$

60万円の益金を受け取れます

## 2) SQ値により決済

SQ値は、満期日における日経平均株価の各構成銘柄の始値により算出されます。通常の日経平均株価は気配値段も加えて算出されるため、**SQ値と日経平均株価の始値は異なります**。SQ値は、その日の取引終了後に発表されます。

例) SQ値が32,000円の場合

注) 手数料は考慮しておりません。

買方の場合	売方の場合
日経225先物を32,100円で1枚買建て、SQ値で自動決済。 (32,000円 - 32,100円) × 1,000 × 1枚 = <b>-100,000円</b> <u>10万円の損金を支払う。</u>	日経225先物を32,100円で1枚売建て、SQ値で自動決済。 (32,100円 - 32,000円) × 1,000 × 1枚 = <b>+100,000円</b> <u>10万円の益金を受け取る。</u>

※日経225miniは、日経225先物の1/10になります。



# 諸経費は？

## ◆手数料

日経225先物	日経225mini
1枚当たり247円	1枚当たり27円

■消費税込み

■円未満切り捨て

## ◆当社ストックハウスにおける規定証拠金

日経225先物	日経225mini
銘柄別のVaR証拠金の1.2倍。 ※円未満切り上げ ※最低50万円	銘柄別VaR証拠金の1.2倍。 ※円未満切り上げ ※最低5万円

- 取引に際しては、あらかじめ必要となる額を証拠金に振り替えていただく必要があります。
- 証拠金は現金のみです。株券等による代用はできません。
- 規定証拠金の計算方法については当社ストックハウス証券口座ログイン後のお知らせ欄に掲載しています。
- VaR証拠金は、株式会社日本証券クリアリング機構において毎営業日更新されるため、弊社規定証拠金もその都度更新を行います。

# 取引に必要な証拠金額計算の考え方①

取引に必要な証拠金額の基準となるVaR証拠金方式は、銘柄別（限月及び売り、買い）に異なり毎営業日更新されます。

当社ストックハウスでは、当日の『買建玉の総額と売建玉の総額との間で比較し、大きい額』の証拠金を、証拠金として必要な額(=証拠金所要額)としています。

例) 2023年12月11日時点における銘柄別VaR証拠金の1.2倍

2024年1月限月分	日経225先物売	150万円	日経225mini先物売	15.1万円
2024年1月限月分	日経225先物買	151万円	日経225mini先物買	15.2万円
2024年2月限月分	日経225先物売	149万円	日経225mini先物売	14.8万円
2024年2月限月分	日経225先物買	152万円	日経225mini先物買	15.3万円

と仮定したうえでの証拠金所要額を計算します。

お持ちの買建玉、売建玉を以下の条件と致します。

売建玉				買建玉			
2024年1月限月	日経225先物	3枚	…450万円	2024年1月限月	日経225先物	2枚	…302万円
2024年1月限月	日経225mini	2枚	…30.2万円	2024年1月限月	日経225mini	11枚	…167.2万円
2024年2月限月	日経225先物	2枚	…298万円	2024年2月限月	日経225先物	3枚	…456万円
2024年2月限月	日経225mini	4枚	…59.2万円	2024年2月限月	日経225mini	8枚	…122.4万円
<b>日経225先物売証拠金総額</b> <b>837.4万円</b>				<b>日経225先物買証拠金総額</b> <b>1,047.6万円</b>			

## 証拠金所要額

買建玉の総額の方が多いため、買建玉の証拠金総額で考えます。

**日経225先物買総額 1,047.6万円が必要証拠金となります。**

## 取引に必要な証拠金額計算の考え方②

取引に必要な証拠金額の基準となるVaR証拠金方式は、銘柄別（限月及び売り、買い）に異なり毎営業日更新されます。

当社ストックハウスでは、当日の『買建玉の総額と売建玉の総額との間で比較し、大きい額』の証拠金を、証拠金として必要な額(=証拠金所要額)としています。

売建玉		買建玉	
2024年1月限月	日経225先物 3枚 …450万円	2024年1月限月	日経225先物 2枚 …302万円
2024年1月限月	日経225mini 2枚 …30.2万円	2024年1月限月	日経225mini 11枚 …167.2万円
2024年2月限月	日経225先物 2枚 …298万円	2024年2月限月	日経225先物 3枚 …456万円
2024年2月限月	日経225mini 4枚 …59.2万円	2024年2月限月	日経225mini 8枚 …122.4万円
<b>日経225先物売証拠金総額</b> <b>837.4万円</b>		<b>日経225先物買証拠金総額</b> <b>1,047.6万円</b>	

### 証拠金所要額

買建玉の総額のほうが多いため、買建玉の証拠金総額で考えます。

**日経225先物買総額 1,047.6万円が必要証拠金となります。**

証拠金所要額と、証拠金として差し入れていただいている額（=受入証拠金残）と比較して、受入証拠金算が不足している場合には、『証拠金不足』のため、証拠金の追加差し入れが必要になります。

『受入証拠金残』は、当日の取引終了後の値洗いにより発生した評価損益も加減して算出しますので、建てた時には証拠金が足りても、その後の相場変動により発生した評価損が発生すれば、追加証拠金の差し入れが必要となります。

# 預け入れ証拠金からの新規建て可能数量の算出

例) 300万円を証拠金として差し入れると、何枚の取引ができるか？

VaR証拠金額は、限月及び売り、買い毎に異なるため、その都度変わります。

例) 2023年12月11日時点における銘柄別VaR証拠金の1.2倍

2024年1月限月分	日経225先物売	150万円	日経225mini先物売	15.1万円
2024年1月限月分	日経225先物買	151万円	日経225mini先物買	15.2万円
2024年2月限月分	日経225先物売	149万円	日経225mini先物売	14.8万円

## 新規建て可能数量

2024年1月限月分 日経225先物 売 :  $300\text{万円} \div 150\text{万円} = 2 \rightarrow$

2枚

2024年1月限月分 日経225mini 買 :  $300\text{万円} \div 15.2\text{万円} = 19.73 \rightarrow$

19枚

2024年2月限月分 日経225mini 売 :  $300\text{万円} \div 14.8\text{万円} = 20.27 \rightarrow$

20枚

※手数料・消費税は、新規建て分・決済分、まとめて『決済時』に損金として計上されます。

# 建玉に係る証拠金所要額及び新規建て可能数量の計算方法①

例) 受入証拠金1,000万円。日経225先物の規定証拠金は銘柄毎のVaR証拠金額1.2倍。

下表の建玉がある。

VaR証拠金額は、限月及び売り、買い毎に異なるため、その都度変わります。

例) 2023年12月11日時点において

2024年1月限月分 日経225先物買建単価 31,950円 (VaR証拠金額150万円)

2024年1月限月分 日経225mini先物買建単価 3,150円 (VaR証拠金額14.9万円)

2024年2月限月分 日経225先物売建単価 32,100円 (VaR証拠金額149万円)

2024年2月限月分 日経225mini先物売建単価 3,215円 (VaR証拠金額14.8万円)

と仮定したうえでの証拠金を計算します。

銘柄	売買	数量	建単価	時価	評価損益
日経225先物 1月限	買建	3枚	31,950円	32,000円	$(32,000円 - 31,950円) \times 1,000 \times 3枚 = 150,000円$
日経225mini 2月限	売建	33枚	3,215円	3,200円	$(3,200円 - 3,215円) \times 100 \times 33枚 = -49,500円$

証拠金所要額 (= 証拠金として必要な額)

注) 手数料等は考慮しておりません。

買方の場合	売方の場合	証拠金額
日経225先物を1,500,000円で3枚買建 総額4,500,000円	日経225mini先物を148,000円で33枚売建 総額4,884,000円	売方の証拠金額の方が 大きいため 総額4,884,000円

# 建玉に係る証拠金所要額及び新規建て可能数量の計算方法②

銘柄	売買	数量	建単価	時価	評価損益
日経225先物 1月限	買建	3枚	31,950円	32,000円	$(32,000円 - 31,950円) \times 1000 \times 3枚 = 150,000円$
日経225mini 2月限	売建	33枚	3,215円	3,200円	$(3,200円 - 3,215円) \times 100 \times 33枚 = -49,500円$

注) 手数料等は考慮していません。

## 証拠金所要額 (= 証拠金として必要な額)

買方の場合	売方の場合	証拠金額
日経225先物を1,510,000円で3枚買建 <b>総額4,500,000円</b>	日経225mini先物を148,000円で33枚売建 <b>総額4,884,000円</b>	売方の証拠金額の方が 大きいいため <b>総額4,884,000円</b>

## 証拠金不足発生までの余力

受入証拠金残	+	評価損益	-	証拠金所要額	=	証拠金不足が発生するまでの余力
10,000,000円	+	(150,000 - 49,500) 100,500円	-	488.4万円	=	5,216,500円

## 新規建可能数量

	受入証拠金残	÷	規定証拠金	-	既建玉枚数	=	可能枚数
日経225先物1月限月買建可能数量	10,000,000円	÷	151万円	-	3	=	3.622...
日経225先物mini2月限月売建可能数量	10,000,000円	÷	14.8万円	-	33	=	34.567...

次のページでは、評価損が発生した場合を見てください。→

# 評価損が発生した時の管理方法

銘柄	売買	数量	建単価	時価	VaR証拠金の1.2倍	評価損益
日経225先物 1月限	買建	4枚	32,100円	31,000円	1,510,000	$(31,000円 - 32,100円) \times 1000 \times 4枚 = -4,400,000円$
日経225mini 2月限	売建	37枚	3,200円	3,100円	148,000	$(3,200円 - 3,100円) \times 100 \times 37枚 = 370,000円$

注) 手数料等は考慮していません。

## 証拠金所要額 (= 証拠金として必要な額)

買方の場合	売方の場合	証拠金額
日経225先物を1,510,00円で4枚買建 <b>総額6,040,000円</b>	日経225mini先物を148,000円で37枚売建 <b>総額5,476,000円</b>	買方の証拠金額の方が大きい ため <b>総額6,040,000円</b>

## 証拠金不足発生までの余力

受入証拠金残	+	評価損益	-	証拠金所要額	=	証拠金不足が発生するまでの余力	
10,000,000円	+	(370,000-4,400,000)	-4,030,000	-	6,040,000円	=	-70,000円

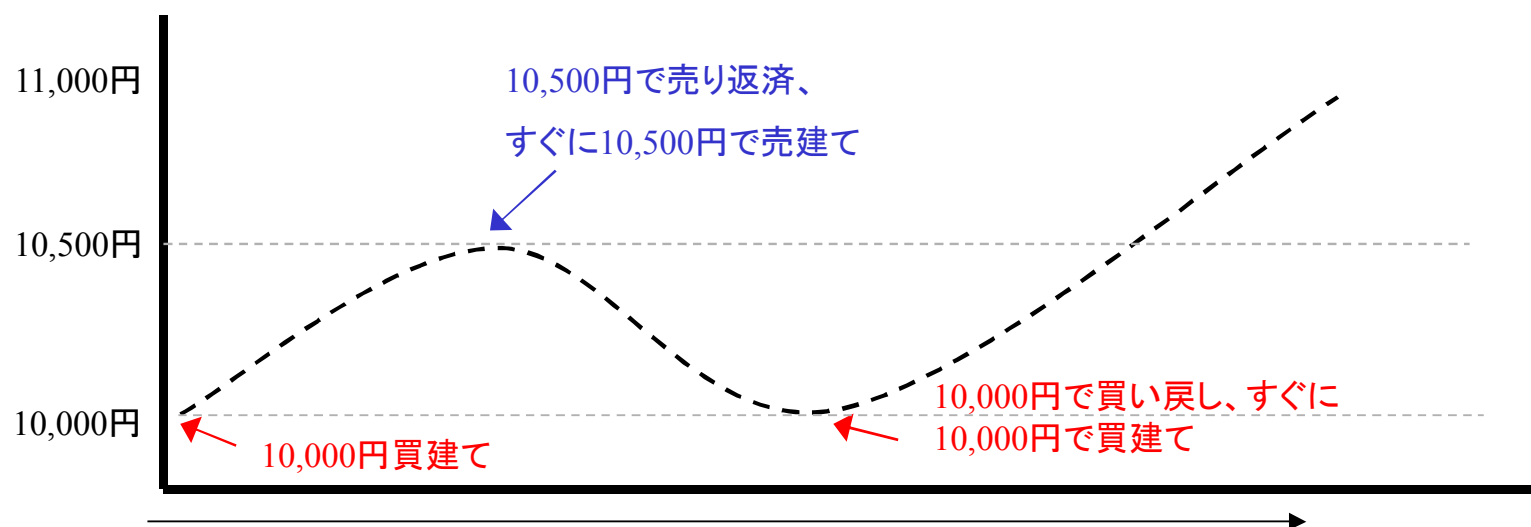
70,000円の証拠金不足が発生。  
翌営業日正午までにお振り込み  
いただき、証拠金へのお振替を  
していただく必要があります。

# 日経225先物取引の活用方法

現物取引では、いわゆる『日計りルール』により、同一日に買い→売りを行うと、その売却代金は同日中の同一銘柄の買付には充当できません。

日経225先物・日経225miniでは、『差金決済』が認められているため、**同一の資金で何回転でも同一銘柄(限月)の取引ができます**。例えば1枚分の証拠金があれば、下図のような『**買建て→売り返済・すぐに売建て→買い戻し・・・**』というような取引が可能です。

※実際には、決済損益は、決済約定時点で証拠金から加減されます。また、手数料・消費税は、決済約定時に、新規建て分・決済分、まとめて損金として計上されます。





# ～知っておきたい用語～

## ◆ VaR 証拠金

日経225先物取引、日経225先物取引miniだけで単一限月の買いか売りのどちらか一方を取引した際に必要な証拠金の最低基準額です。

日本証券クリアリング機構が定めるVaR証拠金で、特定のポジションを一定期間保有すると仮定した場合において、将来の価格変動により一定の確率の範囲で予想される損失をカバーする額（指定損失想定額）を計算して求められた数値です。

他原則として毎営業日公表され、弊社においては翌営業日から適用されます。

## ◆ サーキットブレーカー制度

相場が過熱してきた場合、取引を一時中断することで投資家の過熱感を鎮め冷静な判断の機会を設けるための措置です。

### 【発動条件】

- ・先物取引の中心限月取引について、次の条件に該当した場合

先物取引（ミニ取引を除く）の中心限月取引において、制限値幅の上限（下限）値段に買（売）呼値が提示され（約定を含む。）、取引等が行われた場合、直ちに原資産が当該中心限月取引と同一の先物取引（ミニ取引を含む）を一時中断する。

### 【適用除外の条件】

- ・日中（午後）立会又は夜間立会のレギュラー・セッションの終了時刻から20分前以降に発動条件に該当した場合
- ・同一取引日の間に制限値幅の上限（下限）値幅を2回拡大した後、再度発動条件に該当した場合
- ・取引状況等を勘案して取引の一時中断を行うことが適当でないと大阪取引所が認める場合

### 【中断時間】

10分間

# 日経225先物/日経225mini取引の口座を開設するには？

先物取引は、多額の利益が得られることがある反面、多額の損失を被る(預託した証拠金以上の損失が生じる危険性を併せ持つ取引です。そのため、相応の知識があると弊社が認めた場合にのみ、口座開設が可能となります。当社では以下の基準をすべて満たす場合に、先物・オプション取引口座の開設の申込みを行うことができます。

- ①すでに当社ストックハウスへ証券総合取引口座 又は法人取引口座を開設していること。
- ②満年齢が原則20 歳以上75 歳未満であること。
- ③先物・オプション取引の経験があること。または株式投資の経験があり、先物・オプション取引の知識があること。
- ④「先物・オプション取引口座設定約諾書」「指数先物・オプション取引契約締結前交付書面に関する確認書」を差入れていただけること。
- ⑤先物・オプション取引制度、当社の取引ルール、先物・オプション取引のリスク等を理解し、本規定及び「先物・オプション取引口座設定約諾書」等の内容を承諾していること。
- ⑥住所、電話番号、生年月日、職業（勤務先を含む。）等当社の定める事項が正しく登録されていること。
- ⑦電話又は電子メールにより、直接連絡が常時取りうること。

お客様のご入力いただいた内容をもとに社内審査を行いますが、必要に応じ電話審査を実施させていただく場合があります。また、当社の先物・オプション取引口座開設基準条件を満たしている場合でも、口座開設を承ることができない場合があります。お客様のご希望に添えない場合の事由については開示いたしませんので、あらかじめご了承ください。